

事務事業 No./名称	■サービス部門 健福-32 □支援部門		保健衛生運営事業				
主管課	市民健康課	関連課					
分野名	健康福祉						
目標 (目標値)	地域の関係団体との協議により市民の健康衛生に対する意識の啓発を促して疾病の予防を図る。						
人口等の データ	データ区分	22年度	21年度	20年度	備考		
	人口	177,161人	176,669人	176,484人	・各年4月1日 (住民基本台帳)		
世帯数	78,812世帯	78,131世帯	77,430世帯				
運営資源 状況	事業の対象者数						
	決算値(千円)	59,099千円	98,123千円	283,098千円			
	(国・県)	530千円	490千円	0千円			
	(負担金等)	0千円	0千円	0千円			
	(一般財源)	58,569千円	97,633千円	283,098千円			
	人員配置数	0.6人	0.6人	0.6人			
	人件費(千円)	5,277千円	5,565千円	5,619千円			
協働の パートナー	献血協力団体 医師会	献血協力団体 医師会	献血推進会議 献血協力団体 医師会				
事務事業 運営経費	総事業費(千円)	64,376千円	103,688千円	288,717千円			
	市民1人当 りの経費(円)	363円	587円	1,636円			
	対象者1人 当りの経費(円)	-	-	-			
ベンチマーク (県内外自治体 や民間団体と の比較値)	団体名						
指標	評価	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終年度(年度)
鎌倉市内での分娩割合を高める。	○	目標値	50%	50%	55%	55%	-
		実績値	40%	47%			

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。
小事業名	H22決算値	評価	適切=○、要改善=△(評価の視点を参照)	⇒ 方向性 A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止
保健衛生運営事業	58,850千円	①効率性 ○ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 ○	⇒	■A □B □C □D □E
	事業の概要	・市民への健康啓発等を行っている団体の運営を推進するために補助金を交付する。 ・出産環境を改善するために、鎌倉市医師会立産科診療所の運営事業を支援する。 ・鎌倉市医師会立産科診療所の円滑な運営を図るため、市民、学識経験者を交えた運営協議会を開催する。		
献血事業	249千円	①効率性 ○ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 ○	⇒	■A □B □C □D □E
	事業の概要	日本赤十字社横浜血液センターが街頭等で実施する献血事業に対して、市内事業所、町内会、ライオンズクラブ等と連携・協力する。		
		①効率性 ○ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 ○	⇒	□A □B □C □D □E
	事業の概要			
		①効率性 ○ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 ○	⇒	□A □B □C □D □E
	事業の概要			
		①効率性 ○ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 ○	⇒	□A □B □C □D □E
	事業の概要			

中事業の評価結果

事業診断(課長評価)	
H22年度の課題	(産科診療所)平成22年度は分娩人数目標を360人としていたが、322分娩にとどまった。これ以上の分娩人数を増やすためには、増床や助産所の併設が課題となる。 (献血)本人が200mlの献血意思があるにもかかわらず、需要がないという理由から血液センターで断ることがある。 協力企業の従業員減少により、企業の従業員の協力が得にくくなっている。
課題解決のための取組	(産科診療所)産科診療所運営協議会を開催し、安定的な運営について協議した。 (献血)血液センターに対し、献血者を増やすため午前午後で二つの場所を回るようにしてもらった。また、献血意志のある200mlの献血にも対応してもらえるよう働きかけた。
未解決の課題	(産科診療所)産科分娩数を増やすため産科診療所の増床が必要である。 (献血)献血者数の維持・拡大が必要である。
今後の方針	(産科診療所)増床するための方策について、鎌倉市医師会と協議していく。 (献血)引き続き、献血者数を増やすべく献血意志を無にしない対応を血液センターへ働きかけていく。
今後の方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止 ⇒ A ※ □事業完了 課長名 市民健康課長 大澤 一則

個別事業の概要

小事業名	ザイムスコード	個別事業名	22年度予算	22年度決算値	個別事業の評価結果	
保健衛生運営事業	主な個別事業	89 救急医療・健診等保険料	864	863	■適切	□見直し余地あり
		89 地域医療センター維持管理費負担金	3,207	3,014	■適切	□見直し余地あり
		89 県ドクターヘリ運営事業運営費負担金	434	417	■適切	□見直し余地あり
		89 医師会運営費補助金	3,731	3,731	■適切	□見直し余地あり
		89 歯科医師会運営費補助金	2,023	2,023	■適切	□見直し余地あり
		89 衛生協議会運営費補助金	3,686	3,686	■適切	□見直し余地あり
		89 薬剤師会運営費補助金	116	116	■適切	□見直し余地あり
		89 助産師会等運営費補助金	230	230	■適切	□見直し余地あり
		89 産科医師分娩手当補助金	4,680	530	■適切	□見直し余地あり
保健衛生運営事業	主な個別事業	782 産科診療所運営協議会委員報償	216	94	■適切	□見直し余地あり
		782 産科診療所運営費補助金	43,719	43,719	■適切	□見直し余地あり
献血事業	主な個別事業	92 献血協力者謝礼	315	249	■適切	□見直し余地あり
	主な個別事業				□適切	□見直し余地あり
	主な個別事業				□適切	□見直し余地あり
	主な個別事業				□適切	□見直し余地あり